

第35期 小松 満 (旧姓鈴木)
この度、吉田クラブ機関紙に寄稿させて頂けること厚く感謝申し上げます。

私の代は川崎インターハイでベスト8に入った代ですが、早いもので21年が経ちました。現在、茅野市に在住、子供も長女高2、長男が高1となっております。二人とも縁あって、吉田高校バスケット部大先輩の長谷川校長先生の学生会、東海大三にお世話になっており、長女は部活には入っておりませんが、長男は野球部に加入しております。長男は5歳から野球を始め、小6時に茅野市代表として、台湾で日の丸を付けて国際大会に出場、中3の時に中体連で県3位になったこともあり、甲子園を現実の目標として厳しい練習に取り組んでおります。小生、すっかり星一徹となつてしまいました。

また家内がバスケママさんチーム(スワレイカース)の選手でありこの度、35才以上のマスターズ全国大会に県選抜されました。11月に小田原で全国大会があり、その応援も楽しみです。(ホント良く身体動くなと関心しきり)
という具合に私自身は運動不足の塊と化しておりますが、家族がスポーツで活躍しているのが嬉しい、それを励みに毎日を充実して過ごしております。(昭和五十七年三月卒)



吉田クラブを活性化させよう

会長 小林和夫

吉田クラブは今春卒業した新入会員を第五十五期生として迎え、全体で四百六十有会名を揃える大所帯となりました。
当然のことながら十八歳の若者から七十才代の先輩まで同じ会員として名前を連ねていますが、昔の考え方や生活環境まで親子以上の隔たりがあるわけです。
バスケットボールを取り巻く環境にしても、施設用具、技術的にも大きく異なり、変遷して隔世の感があります。

しかしクラブの運営については幾度か時から現在まで、余り変わっていない様に思われます。
「会員相互の協力を高める」「施設をチーム教化の為全面的な援助をする」というクラブの目的は誰しも理解して頂きますが、現実には目標達成の為に会費を納入して頂く会員は百名ぐらいいいかいませ

あきやかな紅葉の候となりましたが、皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。

さて、石坂喜久雄先生におかれましては、昭和四十九年から昭和六十一年まで、長い間吉田高校バスケットボール部のコーチとして、私たち部員一同指導を賜り、全国大会をはじめ各大会で活躍することができました。そこで感謝の意を表し、吉田クラブのご協力のもと、ここにささやかながら、下記日時に小宴を企画いたしました。多忙中誠に勝手ながら、ご案内申し上げます。

發起人 第三十二回 小松満 神山真也 高橋澤 山崎 藤志 柳沢研 鈴木昌

日時 平成十四年十一月二十三日(土) 日時 八千円(記念品代含む) 会費 午後 六時より

場所 長野駅前 メトロポリタン長野

尚 記念品代のみ参加の方は、記念品代二千元以上を下記口座まで振り込んでください。

長野南石堂 一三四六番地 郵便局 口座番号 1110-21924261 鈴木昌 TEL 026-291-7008

残る三百六十名はどうか
この辺を抜本的に見直し、改革しないと会員のクラブ離れが加速されかねません。幸いわれわれクラブ員には「バスケットボールが大好き」という共通のキーワードがあります。また「現役活躍に一喜一憂する」共通項があります。このキーワードと共通項を徹底的に分析し、新しい方針を打ち出すのが新役員に課せられた最大の任務だと思っております。

会員の皆様も現在の吉田クラブに対する具体的な不平不満、また建設的な意見を身近な役員までお聞かせください。
尚、ご案内のとおり現役が見事に第三十三回全国高校バスケットボール選抜優勝大会県予選優勝を勝ち取りました。追って特報をお送りしたいと思います。

幹事長就任にあたり

北山一幸

日頃は吉田クラブに対し多大なるご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。この度、前任の中沢大先輩より幹事長の大役を引き継ぎ(継がされた)ご挨拶をさせて頂きます北山と申します。多勢の諸先輩を前に大変恐縮しています。どうぞよろしくお願いたします。目を追うことにはまったと思っておりますが、今年度、幹事会を重ねるうち、会長始め役員の皆様の吉田クラブに対す

秋涼の候、会員の皆様におかれましては益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃より吉田クラブの運営につきまして格段のご協力を頂きありがとうございます。新役員も決定し、新たな目標に向けてスタートいたしました。ご協力のほどをお願い申し上げます。つきましては平成十四年度会費を左記により納めて頂きたく、案内申し上げます。クラブ活性化のため格段のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

Table with 2 columns: 納入金額 (納入金額) and 納入方法 (納入方法). It lists membership fees and payment methods for the 14th fiscal year.

る熱い想いに触れ、何ができるのかと模索する日々に変わりました。会長の徹底した分析と新しい方針が打ち出せるか自信はありませんが、経験豊かなメンバーの力をお借りして、良い活動とそれによる求心力を創ろうと微力ながら考えています。
おまけ 「吉田だより」発刊に際し電子メールでのやり取りを幾つかさせて頂きました。まさにIT時代、ありがとうございます。特に東京支部の小林慧歩先輩には「メール」での初添付で原稿を頂き感謝感激です。メル友よろしくお願いたします。また、会長はインターネットを通じたバスケットボールの切手収集大家であり、イタリアとか外国からたくさんメールが入っていたのには驚いた。知らなかった。



去る八月十一日(月)恒例の総会が開催されました。現役、OB交えての試合、そして、初の湯での総会、懇親会でした。残念ながら今年初の湯工事中につきお風呂は入れませんでした。総務作りに改修中とは誰も聞いていません。二十四名の参加を頂きました。

平成十三年度吉田クラブ役員

Table with columns: 役職名, 氏名, 回数, 連絡先電話番号, 所属団体(会社), 住所, 所属. Lists club officers and their details.

全戦全勝のOBクラブより

今年は、シューターが抜けて得点能力がかなり落ちたが、新人の竹村君と池田君が入り四月の団体選手最終選考会を迎えた。吉田クラブは第三シードであったが私自身かなり不安を持っていた。準々決勝の県教員A戦は前半十四点負けていたが第四ピリオドの残り三分を切ったところで逆転、そのまま逃げ切った会心のゲームであった。準決勝の信大戦はスピードと体力で完敗であった。七月の県下一般大会は仕事等で、選手が五人しか集まらずベスト八で終わった。

監督 清水信行

九月の県総合選手権では二回戦で、残り一分六秒で逆転され一点差で負けました。これは私自身又選手達もかなりのショックであった。しかし考えてみると今年は練習で人が集まらず試合の一週間前までやっと五対五が出来る状態で負けて当たり前なのかもしれない。今までは練習不足でも前の財産で何とかベスト四に入っていたが今の状態では無理であろう。一月に行われるクラブ選手権では気合をいれ練習し頑張ります。ショックをばねにします。新人戦力も取り込みながら常に優勝を狙えるチーム作りをしていきますのでこれからも会員の皆様のご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

Table with columns: 年月日, 事業名, 価, 要. Lists various club activities and their costs.

Table with columns: 年月日, 事業名, 価, 要. Lists club activities and their costs.

平成十三年度吉田クラブ決算書

Financial statement table with columns: 収入の部, 支出の部, 科目, 金額. Shows income and expenses for the year.

Table with columns: 回数, 吉田, 対戦相手, 結果. Lists match results for the year.

東京支部から

OB会費納入について

私が現役の頃は、正式なOB会がなかった。従ってOBに練習を見て貰うとか、試合の応援をして貰う等、精神的な面でお世話になったが経済的援助を受けたことはなかったと思う。昔の資料を無くしてしまったので、正式なOB会が何時出来たのか忘れてしまったが、「この規約は昭和四十七年七月十三日より施行する。」というクラブ規約のプリントがあるので、この頃には、既にOB会が存在していた。そして、昭和四十八年度総会の決算報告書に、現役インターハイ出場補助金十五万(当時私の月給十三万円)となっている。OB会では、私が持っている総会資料を見ると、この頃より毎年、インターハイに出場するしないに

関わらず、現役を補助している。近いところで昨年は現役補助金二十万円、インターハイ出場資金援助九十五万五千円となっている。今年度決算報告も、現役補助二十万円となっている。現在、OB会員は約四百人いると思う。本年総会の決算書を見ると、十三年度会費納入者は八十一名しかない。クラブとしては、納入者の氏名が記載されている。未納入者は一目瞭然。当たり前だが、現役強化のための援助も多く出ることになる。

そこで、私は声を大にして言いたい。私達は金銭的援助を受けていなかった。だからといって会費を納めないと言う事ではない。(私は完納していると思う。)会費を納めるということは会員の義務であることだ。しかし、昭和四十九年卒以降の人は、率先して会費を納めるべきである。何故ならば自分たちが現役の頃、さんざん援助して貰った訳であるからだ。今度は、俺達が現役の面倒を見てやる。と考えるのが普通だと思ふ。このような考えは異常であるか。？もし異常であると思われれば人がいたなら、その人の意見を聞きたい。(昭和二十七年三月卒)

調布市深大寺北町五十一番一五 電話〇四二四一八二一六 一八二一〇一一 eino_k@col.ne.jp

平成十三年度報告 平成十三年度報告 平成十三年度報告

御 礼

拝啓 余寒の候、OB会の皆様方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

先般のウィンターカップ2002第33回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会出場に際しましては、ご声援ご支援、誠に有難うございました。

ここに心より厚く御礼申し上げます。

長野県予選会は3年生が進学を切替える時期の例年10月初旬に開催されるために、私立駿泰に競り勝つことはなかなか難しい訳ですが、決勝戦松商学園を2点差で振り切った4年ぶり全国選抜大会への出場となりました。アジア選手権の関係で今年は正月3日からの開催となり、インフルエンザ・風邪などで体調を崩す選手が相次ぐ中、年末年始も休まず練習に励み全国に臨みました。2日に上京し、3日午の降る学習院大学会場で開催となる島根県代表松江東高校との対戦。試合当日は正月にもかかわらず多くの同窓生・高見澤先輩をはじめ東京在住のOBの方々・そしてご父兄の皆様に応援に駆けつけていただき大変嬉しく心強く感じました。3年生はセンター試験間近で大会出場を断念、1・2年生で試合に臨みましたが、第3クォーターまで61対61と一進一退の見ごたえある攻防が続きました。最終第4クォーターに入り、新人の若さからかファウルトラブルに陥り惜敗し1回戦敗退となりました。翌4日からはインターハイ出場という目標に切りかえ千葉に遠征し、6日夕刻、生徒たちは価値ある体験をして帰長しました。

終わりに、この度は一昨年の熊本インターハイ出場とあわせて、心温まるご支援を賜りましたことに重ねて心より厚く御礼申し上げます。生徒・スタッフ一同は更に15年度長崎インターハイ出場を目指して努力いたす所存であります。今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。立春とは名ばかりの寒い日が続いておりますが、ご自愛のほどをお祈り申し上げ、ご報告と御礼にかえさせていただきます。

敬具

平成15年2月吉日

長野吉田高等学校64回生
バスケットボール班 顧問 広田信一



送信者: "小林 慧歩" <eiho-k@col.ne.jp>
宛先: "小林 和夫" <kazuo.koba@nifty.com>
送信日時: 2003年2月5日 13:55
添付: 吉田バスケットOB会支部懇親会通知15年2月.doc
件名: 寒い日が続いています

慧歩です。この冬は、長野市内も雪降りが多いようです。現役は、1回戦で負けてしまい、残念でした。応援に行けなくて、失礼しました。

ところで、添付資料のよう、3月7日に、懇親会をやることにしました。その時に、高見澤氏の希望で、此方に来ている学生にも、声をかけて見たいと思っています。(高見澤氏が3日に応援に行った時、青山学院の学生も来ていたとか)大変お手数を掛けてしまいますが、現在此方の大学に来ている学生の、住所なり電話番号なりを、誰かに調べさせ、連絡をくれるよう手配して下さい。宜しく御願います。

小林慧歩
eiho-k@col.ne.jp

OB 吉田クラブから

長野県クラブバスケットボール選手権(平成15年1月13, 18, 19日) 長野市
2回戦 長野吉田 112-67 穂高クラブ、3回戦 長野吉田 107-85 下諏訪クラブ
準々決勝 長野吉田 65-82 ターキーズ
3年連続優勝して4連覇を狙って望んだクラブ選手権でした。練習不足がそのまま出た結果となってしまいました。15年度は有力新人の加入もありますので練習を積んでよい成績を残せるように頑張ります。

会員の皆様におかれましてはますますご活躍のことと存じます。会費、激励金の納入につきまして厚くお礼申し上げます。

三寒四温、春到来が早いだろうとの予測ですが、まだまだ寒い日が続いています。今回の“吉田だより”は年末年始と各大会に出場した現役の報告が中心となりました。また、東京支部の高見先輩からの“東京支部懇親会”のご案内もそのまま掲載させて頂きました。日程のアナウンスが遅れましたがふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

(28日までのところ済みません。)小林先輩のメールも掲載させていただきました。OBクラブの清水監督からの近況報告も併せて載せてあります。会員の皆様のご意見ご要望そしておもしろ情報をお待ちしています。(026-292-3605 北山まで)

平成15年2月8日
長野吉田高校バスケットボール部
OB会東京支部会員 各位

支部長 高見澤 国
懇親会の開催について (お知らせ)

寒い日が続いておりますが、皆様、ますますご健勝にて、ご活躍の事お喜び申し上げます。

この度、下記のような懇親会を開催いたします。現役の活躍ぶりやら、年代こそ大きな開きがあるにしろ、バスケットボールをやっていた仲間です。それぞれの言葉をなかなか聞きながら、近くに住む仲間同士で、親睦を深めたいと思います。同年代の人を誘って是非お集まり下さい。お待ちしております。

記

日時:平成15年3月7日(金) 午後6:00
場所:東興ホテル 電話 03-3494-1050
(JR山手線 五反田駅西口すぐ前)

会費:6,000円

※準備の都合上、2月28日までにお返事下さい。



お礼とお祝い

今回の現役ウインターカップ出場に際しましては、多くの会員のご支援により無事遠征が出来ました。やはり吉田クラブは現役が勝つことによってその「絆」が強まることを実感いたしました。ここに紙上より厚く御礼申し上げます。

現役はウインターカップに続き「船橋遠征」「北信越新人大会」等で着実に力を付けインターハイ出場を目標に頑張っています。皆様から納入していただく会費はこれらの遠征にも強化費として支出されています。

私たち「吉田クラブ」は公立高校として常に優勝争いに加わっている現役を「誇り」と思い全面的にバックアップしていこうではありませんか。

何らかの事情で会費を未納の皆様は、自分たちが現役時代も「吉田クラブ」から補助金をもらって遠征していたことを思い出して会費納入にご協力いただきたいと思います。

ここに平成14年度の会費納入者と、激励金協賛者名簿を掲載し感謝の意を表します。

(卒業年代順・敬称略)

高見澤国雄 小林弘呼 大沢卓樹 押田都雄 石井里三 戸津幸雄 直江 勇 米澤弘行
 小林豊歩 渡沢豊雄 内山尚之 横山 広 丸山利男 石坂清実 関 喜典 戸谷 章
 小林和夫 橋詰武人 植松茂富 石川下公 太田哲男 山岸宣明 石井栄二郎 墨澤勝利
 岩崎敏二 牧野実実 荒井政治 中沢豊和 小池千秋 白谷秀明 藤沢 和 藤原毅一
 金丸和博 伝田好男 柳見沢宏 和田哲男 清水信行 小池秀明 水崎 正 北山一幸
 神頭恒男 佐藤良幸 広田信一 大屋康秀 武井忠志 中沢金治 伊藤幸広 久保 勲
 荒木博明 山下 亨 小松 彰 相馬遼男 高池一昭 田中華一 斎藤和夫 丸山 明
 荒井秀敏 佐々木明 佐々木昇 竹村 昇 塚田壮一 早川尚希 吉川和彦 酒井貞利
 伝田正則 中山 啓 宮沢 優 綾部 繁 小林和幸 藤原 昭 山口正樹 神山真也
 鈴木 昌 小松 満 柳沢 研 山崎康志 関 泰明 丸山文和 伊藤治彦 松澤 憲
 桑原 仁 高橋 誠 中沢敏治 石井幸道 高橋隆裕 竹内健一 田中華一郎 塚田 剛
 野口麻友 真鍋裕行 山口正二 吉沢秀義 吉田篤則 北原輝和 吉川 仁 重藤信之
 村田啓一郎 太田克志 塚田和俊 山口剛史 佐藤達也 渡沢大輔 吉澤慎一郎
 大内一志 中沢和久 吉沢 匠 福澤 晃 白谷英之 松田岳人 北村弘之 滝沢聖司
 加藤勇貴 小林将直 小山 毅 染野純平 室賀 祥 師岡周平 池田真佑 大久保雅史
 大屋秀作 落合大輔 風間 洋 北沢昌一郎 小山 毅 吉田知実

12月1月の戦跡

北陸ウインターキャンプ 8勝3敗 3位

(12月25・26・27日) 富山県

対戦校

長岡(新潟) 69-64吉田	吉田70-35小千谷(新潟)
吉田75-50高田(新潟)	吉田81-71羽黒(山形)
吉田104-52熊谷工業(埼玉)	吉田75-64福井商業(福井)
吉田85-58小松(石川)	泊(富山) 68-53吉田
吉田41-40東北学院(宮城)	吉田42-41南山(愛知)
泊58-37吉田	

ウインターカップ2002第33回全国高等学校選抜優勝大会

(1月2・3日) 東京都

松江東(島根) 88-70吉田

船橋カップ 7勝2敗 2位

(1月4・5・6日) 千葉県

対戦校	大塚(北海道) 86-74吉田	市立船橋(千葉) 94-64吉田
	吉田101-74山形南(山形)	吉田101-52岐南工業(岐阜)
	吉田82-62旭川工業(北海道)	吉田90-88名古屋大谷(愛知)
	吉田84-69兵庫育英(兵庫)	吉田B91-71市立船橋B
	吉田B87-83山形南B	

北信越新人大会 3勝1敗 9位

(1月24・25・26日) 石川県

対戦校	新潟商業(新潟1位) 92-65吉田
	吉田103-51啓新(福井3位)
	吉田83-72高田工業(新潟3位)
	吉田59-55高岡商業(富山2位)



御 礼

拝啓 余寒の候、皆様方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
先般のウィンターカップ2002第33回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会
出場に際しましては、ご声援ご支援、誠に有難うございました。

ここに心より厚く御礼申し上げます。

長野県予選会は3年生が進学に頭を切りかえる時期の例年10月初旬に開催されるため
に、私立強豪に競り勝ちつことはなかなか難しい訳ですが、決勝戦松商学園を2点差で振り
切った4年ぶりの全国選抜大会への出場となりました。アジア選手権の関係で本年は正
月3日からの開催となり、インフルエンザ・風邪などで体調を崩す選手が相次ぐ中、年末
年始も休まず練習に励み全国に臨みました。2日に上京し、3日雪の降る学習院大学会場
で開幕戦となる島根県代表松江東高校との対戦。試合当日は正月にもかかわらず多くの同
窓生・ご父兄の皆様に応援に駆けつけていただき大変嬉しく心強く感じました。3年生は
センター試験間近で大会出場を断念、1・2年生で試合に臨みましたが、第3クォーター
まで61対61と一進一退の見ごたえある攻防がつつづきました。最終第4クォーターに入
り、新人の若さからコアウルトラブルに陥り惜敗し1回戦敗退となりました。翌4日か
らはインターハイ出場という目標に切りかえ千葉に遠征し、6日夕刻、生徒たちは価値あ
る体験をして帰長しました。

終わりに、この度は一昨年の熊本インターハイ出場とあわせて、心温まるご支援を賜り
ましたことに重ねて心より厚く御礼申し上げます。生徒・スタッフ一同は更に15年度長
崎インターハイ出場を目指して努力いたす所存でおります。今後とも温かいご支援を賜り
ますようお願い申し上げます。立春とは名ばかりの寒い日が続いておりますが、ご自愛の
ほどをお祈り申し上げます、ご報告と御礼にかえさせていただきます。

敬具

平成15年2月吉日

後援会・父母会 会長 長田新司
長野吉田高等学校校長 古厩文亘
バスケットボール班顧問 広田信一
馬場信義





第33回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会

後援会発足から大会まで短い期間にもかかわらず、約400名の後援会員を集める事が出来ました事は皆様方のご理解とご協力の賜であると深く感謝申し上げます。

簡単ではございませんが、下記のように後援会の趣旨に則りウインターカップ(全国高等学校選抜優勝大会)出場経費の補助を致しましたことをここに報告申し上げます。

後援会計		記事	
項目	収入	支出	
後援会会費	1,926,300		振込み手数料を減じた額
旅費補助		1,586,210	
大会記念Tシャツ		92,040	
装備費		39,700	フービング・サブリミット
印刷代		127,630	
通信費		80,720	郵送代
計	1,926,300	1,926,300	

後援会・父母会会長

長田新司

学校長

古坂文宣

バスケットボール班顧問

広田信一

馬場信義

○男子の長野吉田は、県予選後に3年生の大半が退部。1、2年生主体で「昨年の全国中学大会優勝メンバーが、松江東に挑戦した。第3クォーター終了時点で61-61。リバウンドで頑張る一方、随所で速攻が決まり、互角の展開だった。だが、第4クォ

ーターで一気に差をつけられた。「頑張った分、アタリが多かった。若さが出た(広田監督)」。スロウイングメンバーの長田・田中らがアタリを犯し、終盤は戦力的に苦しくなった。アタリを繰り返した。連続ゴールで突き放された。

「最後は焦ってしまっただ。じっくり攻めて得点に近づけるオフェンスをつらねたい(全国には通用しない)と反省した三沢主将。課題を夏は夏のインターハイに向け再発する。



男子・長野吉田は初戦で涙 互角の展開…「終盤に焦った」

長野吉田―松江東 第3クォーター、長野吉田・田中がアタリ

恒例 長野吉田クラブ

夏の総会現役OB交流試合懇親会の案内

今年のご案内を致します。本年は趣向を変えまして交流試合、総会は例年と同様吉田高校体育館、初の湯で実施致しますが懇親会の場所を改めサンバルテ山王(旧山王共済会館)で行いたいと計画しています。よろこび参加賜りますようお願い申し上げます。

期 日 八月十日(日曜日)

時 間 〇日交流試合開始 午後一時三十分より

平成十四年度総会 午後三時三十分より

(選手以外の方参加により)

懇親会場所 【サンバルテ山王】電話 026-228-3011

時 間 午後五時三十分より

会 費 五千円

吉田高校へ四時二十分に
送るのバスが来ます。



今年度のクラブ会費、現役への激励金等ご協力賜りまして誠にありがとうございました。また、掲載に關しまして小山慶様(五十五回)のお名前を小山毅様(五十四回)のお名前とダブって載せてしまいました。ここにお詫び申し上げますとともにお二人の納入に感謝申し上げます。尚、納入者名簿は総会時、後に一覽表にてご報告申し上げます。

先日の七月二十日(日)、長野県中学校バスケットボール選手権がホワイトリングでありました。若干時間が取れましたので男子準決勝を見ました。長野東部対篠ノ井東戦です。何人かの皆さんと会場でお会いしともに観戦と相成ったわけですがびっくりしたのは会場にたくさん応援、観戦される人たちがいて大変熱気があったことです。ミニから始まり一般までより多くの人々のご理解ご支援によりバスケットボール競技の面白さが一層広がって行くことを願っています。さて、大会を制したのは第二十七回生、吉田OBこと武井忠志さんが率いる長野東部中学校でした。お見事！次回はチーム作りの秘訣など本人の想いをおりませての原稿掲載にご協力お願い致します。



夏に生をお返しして

第二回 昭和二十三年三月卒 押田郁雄

去る四月二十九日、吉田クラブの第一回より第五回までの卒業生有志により、部の創立以来ボールの手入れから練習、試合のご指導くださいました現在の吉田バスケット部の基盤をお創りいただいた渡辺先生を長野ワシントンホテルにお招きし、年齢(70)にもかかわらず十名の参加を頂きました。幸いにも各回の代表のご参加もあり昔話に花が咲き、先生から想いで話を聞かされるたびに当時は懐かしく、また、先生のご苦勞を知った処です。

次回の機会を誓い、先生のご健康を全員でお祈りし開会いたしました。最後に遠路ご出席くださいました直江、小林さん御二人が先生と同宿され翌日までご接待くださいましたことに厚くお礼申し上げます。

当日の参加者

- 第一回生 北沢正光、丸山緒雄、山岸歩
- 第二回生 押田郁雄、大沢卓樹、宮本重信
- 第三回生 石井担三、海野基
- 第四期生 直江勇、第五期生 小林善歩

第三十一回 赤塚 和夫

卒業後、吉田クラブでの活動後バスケットから遠ざかっていましたが、横ちゃん会を期に長野市リーグ参加チームに加入し現在バスケットを楽しんでいます。

吉田OBが、ミニバスケット指導者・審判・協会役員等で活躍されている諸先輩にお会いする機会があり、現在ミニバスケットの指導をしています。

諸先輩方よりご指導頂き、苦しくも楽しいバスケットボールを楽しませて頂いた恩返しに気持ちで、何でも誰と共に日々勉強の毎日です。

初めてミニニの大会を見たときに、ゾーンプレス等を子ども達が理解して組織プレーをしているのに驚き、自分が現役の頃と違い、バスケットは非常に難しい事をしているのに驚きました。技術的なことを自分なりに勉強しつつ、精神面も強くなってもらいたいと思ふマナーの指導を中心に行きたいと思っております。



試合での勝利の喜びを、何でも誰か応援して下さる父兄と共にしていきたい、これも誰かが中学校(特に吉田で)とバスケットボールを生涯スポーツとしてくれる事を期待しているところです。

最後になりましたが、吉田バスケットOBである事を誇りに思うと共に、諸先輩が身近に居ることが大変心強くさせて頂いている次第です。今後も公私共にご指導宜しくお願い致します。



今春吉田クラブに入学しました、平成十年度卒業、原田将史です。高校時は県新人戦優勝、県総体準優勝、ウィンターカップ全国ベスト三十二でした。卒業後は信州大に進学し4年間バスケットボールに明け暮れました。三年から北信越選抜としてプレーし、四年のときは大学、北信越選抜のキャプテンを務めました。また、長野県成年男子のメンバーとしてもプレーしました。現在は長野市内で会社員をしており、社会人となるとともに練習できず体力を維持することは難しいですが、これからはより高いレベルでプレーできるように、時間を見つけて練習していきたいです。

第五十二回生 原田 将史

OB吉田クラブ報告

平成14年度県総合選手権では残念ながら2回戦、残り1秒で逆転負け。クラブ選手権でもベスト8止まりと悔しい、満足行かない成績で終了してしまいました。

さて、15年度ですが現役広田監督の最初の卒業生である原田、塚田君が大学卒業と同じにOBチームに参加いただき久々に活気が出てきました。

4月の国体選考会ではベスト4となり今後の選考が楽しみです。尚このベスト4以上の試合は前日より降雨により体育館の床が結露となる珍しい悪コンディションにより中止となりました。

記録

長野県総合選手権(飯田市)

2回戦吉田クラブ63-64長工クラブ

長野県クラブ選手権(長野市)平成15年1月13、18、19日

2回戦吉田クラブ112-67穂高クラブ

3回戦吉田クラブ107-73下諏訪クラブ

準々決勝吉田クラブ65-87ターキーズ

国体選手選考会(伊那市)平成15年4月13、19、20日

2回戦吉田クラブ101-66モンキーズ

3回戦吉田クラブ111-40富士電機松本

準々決勝吉田クラブ86-55佐久エリクソンス

平成15年度 インターハイ予選3位に終わる

顧問 広田 信一

梅雨の候、OBの皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。常日頃現役の活動に対しまして心強いご理解とご支援を賜り心より感謝と御礼を申し上げます。

また、今年1月3日からの全国高等学校選抜大会出場に際しましても過分なるご援助を賜りましたことに対し、この場をおかりして重ねて厚く御礼を申し上げます。お陰様でユニフォームを新調することができました。

さて、昨年12月の県新人大会3位の成績から年末の北陸ウィンターキャンプ(富山)、全国選抜大会出場(東京)と翌日からの1月4日~6日の船橋カップ(千葉)、1月下旬の北信越新人大会(石川県)、3月末4泊5日の東日本カーニバル(新潟)、4月中旬の近県大会(新潟)、5月連休の愛知遠征、5月中旬の県大会前調整遠征(富山)と数多くの試合をこなして県高等学校総合体育大会(インターハイ予選)に挑みました。その間に行われました長野市長杯・北信大会ではすべて100点ゲームで連覇致しましたが、県大会では残念ながら3位という結果に終わりました。過日6月21/22日の北信越大会(新潟)で3年生が引退となり1・2年生にバトンタッチされました。生徒(後輩)たちもチーム一丸となって精一杯に努力して県制覇に挑戦してくれたことに対して顧問(OB)として心から感謝しております。

おわりに、今後とも変わらぬ力強いご支援を重ねてお願い申し上げます。今年度インターハイ予選の報告に換えさせていただきます。

長野市長杯	準々決勝	吉田 114-42 須坂
	準決勝	吉田 99-59 長野工業
	決 勝	吉田 106-66 篠ノ井
北信 総体	準々決勝	吉田 117-51 屋代
	準決勝	吉田 122-62 長野
	決 勝	吉田 106-74 篠ノ井
県 総 体	準々決勝	吉田 103-58 飯田風越
	準決勝	吉田 75-88 松商学園
	3 決	吉田 94-72 長野工業
北信越総体	1回戦	吉田 86-111 私立金沢 (石川県1位)

長あらい

小林和夫

師走も半ばになり、クラブの皆様は何かと忙しい日々をお過ごしのことと存じます。昨年引き続き会長を仰せつかりました小林和夫です。伝統ある吉田クラブのため一生懸命努力する所存ですのでよろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

昨年からはクラブを活性化しようと言ってきました。何が活性化につながるのか、役員会でも検討しましたが、簡単に結論は出ません。要は多くのクラブ員がクラブ運営に関心を持ってもらえるような活動をするのとだと思えます。

そこで今年からは次の二点をクラブ運営の中心にして頑張ろうと思えます。

吉田のバスケットは常に勝者であれ
年齢差が五十歳以上もある仲間が一つになるのは難しいことですが、現役の活躍ぶりには全員が関心を持っています。



年に一度の吉田クラブのB会は最高だ！

三十二回卒 塚田 壮一

恒例のお盆に行われていた総会、懇親会の日程を時代に合わせて変更して初めての開催となった。より多くのメンバーに、より多くの先輩、後輩が喜れるようにとのところみだった。例年のお盆の集まりを予定されていた大先輩方には、日程的に迷惑をかけたこと推測いたします。申し訳ございませんでした。

場所も初の湯から長野駅近くにということで今年度は、サンバルテ山王での開催となりました。二次会にも繰り出しやすいし、少しでも新しく飛躍していく吉田クラブのためにも、幹事全員賛同での開催でした。

四十名にも及び以前に増して大勢での開催でした。いつも出席されていた大先輩も都合がついていれば、五十名にはなっていたと思います。上は第五回卒、下は第五十五回卒と五十期に及びました。これはすごいことです。

小林和夫会長の挨拶が始まり、吉田高校現監督の広

昨年はインターハイ・ウインターカップとも決勝で松商に敗れ、いよいよで全国大会出場を逃がしてしまいました。公立高校として常にベスト4に入る健闘振りをわれわれは誇りに思い、クラブとしても物心両面から全面的な援助をしてやりたいと思えます。

また、最近クラブチームの低迷も気になることです。

もうと若手のプレイヤーを補強して、現役同様常に県大会で優勝争いをするようなチームに再編成するのが来年度の課題だと思えます。

現役とOBチームが常に勝ち続けることが出来るよう、クラブ員全員が関心を持ち続けたいと思えます。

会員相互の親睦を深めよう

今年度は総会の懇親会場を吉田の「初の湯」から、市内のホテルに変更しました。参加者は例年の二倍集まり、例年になく盛り上がりしました。

「吉田でバスケットをやっていた」というだけで、心の垣根は取り除かれ親しみをもちつ

田先生の近況報告。そして出席者全員の近況報告とお酒の勢いもあり宴会は大盛況に！

これはすごいと思うことは、この会場には長野市のいや長野市のバスケットを語るには十分すぎるほどの役者が多いということです。まずは県、市を代表するバスケット協会の役員の方、審判で長野県を代表する方、ミニバス、中学、高校で指導に当たられている方。大学、社会人を通して活躍された方。団体の指導と強化に尽力されている方。大学、高校、中学、ミニと保護者としてかなり熱くなっているお父様方。吉田高の女子バスのOGと指導者の方。などなどかなり多方面の方々が出席されました。この調子だと来年の会には、もっともっと多数の方々が集まりそうです。もちろん、「俺はバスケットより酒をたたく飲むだけで、みんなと会いたいだけ」のメンバーも。

一次会も大盛況に終わり、その後はほとんどの人がそれぞれに二次会に行ったほどでした。

その後、ラーメンを食って行ったたりして、ホント語りつくせないほど時間の短い夜でした。

同じ吉田高校でたった三年間、バスケットを通して知り合っただけで、このようにお付き合いの出来る人脈ができる。それぞれの人生の糧に出来たら本当に素晴らしいと思えます。後輩の皆さん、人脈をつくるのも人脈をいかに生かすかも全て自分自身です。

話すことができます。社会的地位、年齢差など一切関係なく交流できるのもクラブ員の特権であり財産です。

長引く不況で暗い話題が多い時代だからこそ、吉田のバスケット仲間と交流し心の憂さを吹き飛ばそうではありませんか。ご少しも顧問の先生を中心にした年代別懇親会を計画する予定です。そのときは積極的にご参加ください。

役員一同皆様からの建設的なご意見、クラブに対するご要望をお待ちしております。

会費納入のお願い

納入方法

- 1 同封の郵便振替用紙により収めていただく
- 2 銀行口座に振り込んでいただく 82 銀行長野市役所支店
普通預金 103-461 長野吉田バスケットボールクラブ
- 3 現金で事務局、役員に渡す。

本年度会費納入者 (15/12/16 現在)

押田郁雄 小林尊歩 戸谷 肇 小林和夫 橋詰武人 太田哲男 荒井政治 中沢豊和 小池千秋 白谷秀明 藤原惣一 柳見沢宏 澤水信行 水崎 正 北山一幸 神頭恒男 広田信一 大屋康秀 伊藤幸広 赤塚和夫 佐々木明 早川尚希 鈴木昌太 太田克志 中沢和久 白谷英之 大屋秀作



情報の交換とコミュニケーションの場として吉田クラブを生かし、そして母校の活躍を期待しつつバスケットアップできる吉田クラブでありたいと改めて感じました。さらには、我々メンバーが長野市の、長野県のバスケット界をリードしていく牽引役になって行ければと思います。

このような年一度の飲み会の場に、年齢問わず、一人でも多くのOBの方々に来年は参加していただきたいと思っています。

ホント、飲むだけでいいから来年は集まりましょう！

来年も、お盆前の土曜の夜六時開催の予定です。先輩の皆さん、集まって飲みましょう。後輩のみんな、集まって仲間を誘って飲みましょう。

皆さんの参加をいつでもお待ちしております。

平成十四年度総会にて
八月十日、母校吉田高校で十五名の出席にて開催いたしました。熱心に審議いただき事業報告、会計決算の承認が無事終了。高校の教室をお借りし、懐かしい椅子と机をコの字に並び、議事を終えましました。
総会先立っての現役対OB戦は野次を飛ばす所先輩を除きざりざりの人数で現役に遊んでいただきました。
さて、平成十五年度の役員、幹事ですがまだ仕事か足りないとの事、留年を仰せつかりました。恐縮ではございますがもう一年のお付き合いよろしくお願い致します。尚、仕事の関係で若干幹事の變更を予定しています。



OBの足音

昭和二十七年卒 小林善彦
私が顔を出している「A会」は、春に総会、暮れに忘年会と、年二回会を開催している。或る総会後の懇親会で、全然見た事のない人が、一生懸命お酌を回っている姿を見た。忘年会の時も、その人が来て同様な事をしていて、その人は、次の春、管理職になっていた。「A会」も年々参加者が少なくなっている。しかし、この様に出ている事で利益がある様な会合には、まあまあ出席率が保持できる。

我が長野吉田バスケットボールクラブは、「A」会の様に参加すると、得をすると言うものが無い。しかし、バスケットボールと言う強い共通点を持つて繋がっている者の集まりである。個人的な話になるが、私は、旧制農学校から長野農業高校と六年間、プラス三年生の時の二・三年生で、八年間の部員と直接つながりがある。更に、卒業後二年位は、夏・春の休みの練習に参加していたので、延べ十年間にわたる部員の名前、顔が、目に浮かぶ。懇親会で会い、飲みながら昔の事を思い出して、再び親睦を図りたい気持ちで、いっぱいである。今年、総会と懇親会を分けて、総会は、学校

平成14年度吉田クラブ決算書

収入の部

科目	前年度(平成13年度)	本年度(平成14年度)	備考
年会費	680,000	1,000円×75名-5,000円×25名	
2. 専業費	40,000	46,000	
①総会費	120,000	128,000	総会費2,000円×23名
3. 雑収入	1,000	5,000	現金祝儀・現金利子
①現金利子	1,000	5,000	
4. 寄付金	40,000	39,000	
①入会費	45,000	30,000	1,000円×10名
②専業補助金	100,000	100,000	1,000円×10名
合計	1,025,000	1,429,222	

支出の部

科目	前年度(平成13年度)	本年度(平成14年度)	備考
1. 負担金	120,000	120,000	
①会費	40,000	40,000	日本協会・県・市クラブ運営
②会費	80,000	80,000	
2. 専業費	250,000	750,000	
①OB補助金	150,000	150,000	
②専業補助金	200,000	200,000	
③専業補助金	-	100,000	バスケットボールクラブ補助金
3. 専業費	90,000	75,000	
①専業費	50,000	65,000	平成14年度総会費
②専業補助金	40,000	10,000	
4. 専業費	125,000	143,381	
①運営費	50,000	79,920	クラブにより徴収費
②会費	50,000	50,467	幹事会
③文具費	15,000	13,000	印刷費・封筒等
④文具費	-	10,000	印刷費・封筒等
⑤文具費	-	10,000	印刷費・封筒等
合計	1,025,000	1,429,222	

収入金額 1,429,222
支出金額 1,282,246
差引金額 300,976
(税金は予備として次年度へ繰越す)

平成15年8月10日承認
長野吉田バスケットボールクラブ
会長 小林 和夫

年月	内容	金額	備考
11月	総会費	120,000	日本協会・県・市クラブ運営
12月	専業費	40,000	
1月	専業費	90,000	
2月	専業費	125,000	
3月	専業費	120,000	
4月	専業費	120,000	
5月	専業費	120,000	
6月	専業費	120,000	
7月	専業費	120,000	
8月	専業費	120,000	
9月	専業費	120,000	
10月	専業費	120,000	
11月	専業費	120,000	
12月	専業費	120,000	
合計		1,429,222	

の教室でやり、懇親会は「サンバルテ山王」で行った事が、非常に良かったと思う。例年の如く、体育館で現役とゲームをやる。これは、OBと現役との交流の場として、大切な機会である。更に、発展して行く母校の建物・施設等の姿を見る事も楽しい。ゲームの後、その学校内の会場で総会を行う。会長をはじめ若手の役員が、「如何に、この会に参加者を多くするか」を、近代的に考え、一生懸命検討している姿が良く伺える。総会終了後会場を代え、立派なホテルで、気分一新し本当の懇親会らしい会が、大変楽しく行われた。この様な会を企画してくれた、役員の方々に感謝します。

私見を述べさせていただきます。「年会費を払っていないから、出席しにくい」と、思っている人が、居るのではないだろうか？ そんな事は、忘れて兎も角、懇親会だけでも良いから、参加しませんか（こんな事を言う役員に怒られるかな）。昔話に花を咲かせよう。楽しいですよ。ストレス解消にもなり健康的ですよ。

この会に多勢の人が集まる事が、我がクラブの発展につながると思う。そして、現役が何時までも強いチームとして、勝ち残っていける事になるでしょう。

OBの足音

4月の国体選手選考会が終わってから、県下一般大会、県総合選手大会に向けて練習をして来たが仕事の都合等で、なかなか思うように練習が出来なかった。それを心留していたのだが、終わってみれば心配した通りの結果となってしまった。第3ピリオドまではリードしているが第4ピリオドで逆転されて負けてしまった。私自身も仕事の都合で練習も試合も行けない時が多かったと反省しています。今年は新旧選手の入替えの節目でまた練習不足のせいも、まだ息が合っていないのが現実です。練習も試合も常時10人以上集めて、来年1月のクラブ選手権に向けてしっかり練習をして、体力、気力、チームワークを付けていきます。

試合結果

県下一般大会 9月15、27、28日 茅野市
準々決勝 長野吉田クラブ76-81ターキーズ
県総合選手権 11月15、22、23日 上田市
準々決勝 長野吉田クラブ85-93県教員A

清水 信行

吉田だより

6月号

昭和60年度卒業 吉川 仁

高校を卒業して十八年が過ぎました。十八年という今の高校三年生が生まれたころでしょうか。あらためて月日の流れる早さを実感しております。

現在は山梨県立「吉田」高等学校に勤務させていただき、男子バスケットボール部の顧問として、生徒達とともに汗を流す日々を送っています。これも運命の悪戯か、偶然にも「吉田」という名前の学校で、偶然にもバスケットボール部の活動に理解があり、全国大会へ出場する機会にも恵まれました。

何度か母校へも練習試合に行かせていただきましたが、「長野吉田強」は後輩達に嬉しいほど受け継がれています。そして現在の顧問の広田先生のもとで、新しい伝統を積み上げて、素晴らしいチームになっていることを誇らしく思います。未だに練習試合でも1勝もしたことがないわけですが、実は2週間後にもお伺いすることになっており、今度こそ一矢報いたい

と毎日懸命に練習をしています。

いつの日か、全国大会の舞台で母校と対戦することが出来る日を楽しみにしております。

OBチームの近況

清水 信行

長野県クラブ選手権、平成十六年一月十一、十七、十八日、上田市2回戦、長野吉田ク64-170小諸ク、十六年一月に行われた県クラブ選手権では2回戦で小諸クラブに小差で負けてしまいました。やはり練習不足が試合の結果としてにも表れた。

十六年度国体最終選考会、平成十六年四月十六、二十四、二十五日、岡谷市3回戦、長野吉田ク110-51東条ク、準々決勝、長野吉田ク75-80築谷ク、昨年よりセンターが居なくなりゴール下が弱くなった分ディフェンスの強化、シュート率のアップめざし三月より練習してきたが国体選考会ではまだ結果がなかった。特に築谷ク戦では第4ヒトリオド最後で当たりの強いディフェンスが出来なかった、又シュートが重くなり逆転負けをしてしまった。

四月より監督・柳沢研、コーチ・鈴木昌でスタートしましたので宜しく願います。選手を若手に切替えたばかりなのですぐに結果が出ないかもしれませんが監督、コーチ、選手一生涯懸命頑張って練習していきますので宜しく

お願い致します。

会費納入のお願い

平成15年度も早いもので残すところ3ヶ月をきりました。会員各位におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、今年度の会費納入について改めてお願いを申し上げます。昨年に比べ予算額にだいぶ遅れています。現役、OBと活動報告を頂いていますがさらに支援し皆で喜びを大きなものになりたいと考えています。平成15年12/20~16年4/30の間に納入頂きました皆様のお名前を記します。大沢卓樹 戸津幸雄 直江 勇 米澤弘行 沢沢盛雄 横山 廣 関 喜典 岩崎啓次 牧野彌實 藤沢 和 北村誠一 小柳 誠 金丸和博 和田哲男 小松 彰 高池一昭 田中華一 塚田壮一 綾部 肇 山口正樹 小松 潤 山崎康志 山口剛史 齋藤大輔 加藤勇貴 小林登義 染野純平 室賀 祥 渡辺悠太 (前回発表者省略、順不同、敬称略)ありがとうございました。

平成15年度吉田クラブ新規入会者をお知らせします。第57期生として今井才士 塩沢和也 宇野 陽介 畑山貴之 清水克敬 松田幸也 丸田優哉 神山剛士 黒岩 仁 丸山竜哉 三沢 賢 中島 未来之 長田達哉以上14名の皆様です。会費納入は郵便振替が振込み、82BK長野市役所支店普通預金108-461長野吉田バスケットボールクラブに4649! よろしくお願い致します。

総会、夏のお楽しみ会は次号にてご連絡いたします。(予定8月3日、日曜日)

会費納入者に荒木博明様の記入もれをしてしまいました。すみません。よろしくお願い致します。

平成16年度 インターハイ予選3位に終わる

顧問 広田 信一

梅雨の候、OBの皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。常日頃現役の活動に対しまして、心強いご理解とご支援を賜り心から感謝と御礼を申し上げます。

さて、昨年12月の県新人大会3位の成績から年末の北陸ウィンターカップ（富山）、正月1月4日～6日の選抜優勝長野大会、1月下旬の北信越新人大会（長野県）、3月末4泊5日の東日本カーニバル（新潟）、4月中旬の近県大会（新潟）、5月連休の愛知遠征、5月下旬の県大会前調整遠征（新潟）と数多くの試合をこなして県高等学校総合体育大会（インターハイ予選）に挑みました。その間に行われました長野市長杯・北信大会ではすべて100点ゲームで連覇し、近県大会におきましても3位に入賞、『打倒奪回私立』を合い言葉に万全の状態で開催に臨みましたが、準決勝対松商学園戦で延長1点差で惜敗、3位決定戦佐久長聖戦には勝ち、残念ながら3位という結果に終わりました。6月18～20日の北信越大会（福井）で3年生が引退となり1・2年生にバトンタッチされますが、生徒（後輩）たちもチーム一丸となって精一杯に努力して県制覇に挑戦してくれたことに対し、顧問（OB）として心から感謝しております。

おわりに、毎年県制覇を狙い挑戦しておりますが、今年度ウィンターカップ・来年度インターハイ出場を目指し更に努力いたします。今後とも変わらぬ力強いご支援を重ねてお願い申し上げます。今年度インターハイ予選の報告に換えさせていただきます。

長野市長杯	準々決勝	吉田 114 - 71	長野日大
	準決勝	吉田 107 - 77	長野
	決勝	吉田 110 - 78	長野工業
北信 総体	準々決勝	吉田 130 - 65	屋代
	準決勝	吉田 121 - 63	長野日大
	決勝	吉田 104 - 74	長野工業
県 総 体	準々決勝	吉田 101 - 90	飯田風越（南信2位）
	準決勝	吉田 90 - 91	松商学園（中信1位）
	3 決	吉田 96 - 85	佐久長聖（東信1位）
	決勝戦	東海第三 78 - 69	松商学園

松商は吉田戦で体力を消耗し後半ケイレン続出で敗れる。
吉田も私立2校に追いつき、それぞれ互角にあったと思う。



読者の御意見を歓迎いたします。ツラツラツラツラの書き手がいます。是非、



吉田だより

近況 報告
長野吉田クラブ 柳沢 研

OBの皆様、申し訳ありません。最近では新聞紙上を賑わせることもすっかりなくなりました。ましてさぞかし寂しい思いをなさっているのではないのでしょうか。

実際の所、ベスト8が現在の壁になってしまっております。少し前まではこの様な事態は想像することもできなりましたが、チーム全体としての、慢性的な練習不足に加え、選手の転勤、移動等も重なり、本管な成績が続いてしまいました。その上、県内の他のクラブチームもかなり実力をつけてきていて、以前のように簡単に勝てる相手が少なくなっているのも事実です。第三者的立場で考えますと、長野県全体のレベルが向上してきていると言え、大変喜ばしいことではあります。言い方を換えれば下克上の時代でしょうか。仕事で試合を休もうものなら、翌日は試合がありません。そんな時代になっております。どのチームが勝っても不思議ではないという結

会費納入のお願い

平成十六年も早いものでもう師走となりました。会員各位におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今年度も会員の皆様にはクラブ会費納入のお願いをいたします。総会報告でもご案内のとおり会運営の源であります。総会報告でもご案内のとおり、OB補助、現役への強化費とこのままでは満足のいく支援ができなくなります。深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。特に今年度は現役新人が六年ぶりの長野県制覇を果たし北信越への切符も手にしました。これからの活躍に大いに期待をしています。

平成十六年十二月十五日現在の納入状況をお知らせいたします。

尚、納入者記載に行き違いの節はご容赦ください。

会長 小林 和夫

“吉田だより”へのご意見、ご要望をお待ちします。北山まで一報ください。

090・4616・0004
来年もよい年でありますように！

抗した力関係の中での試合が増えている訳ですが、やはり、吉田クラブは過去からの伝統も、現在の選手も、決して他のチームに劣るところはありません。足りないのは練習不足によるほんのわずかなお互いの信頼関係と、戦術(これが無いのは致命的かもしれない)が……(で)でしょうか。今後はこの足りない部分を埋める努力をさせていただきます！と思っております。具体的には、オフフェンスからディフェンスへの切り替えを含めたディフェンス意識の向上と、5人全員でのアーリーオフフェンスの強化が必要最低限と考えています。

最後にありますが、日頃より多大なバックアップをして頂いておりますOBの皆様方、本当にありがとうございます。吉田クラブが、一刻も早く冬眠から目覚めますように変わらぬ応援宜しくお願いいたします。また、現在吉田クラブと、疎遠になっているその君、吉田高校バスケット部出身の君、一度連絡下さい。こんなにOBの方がサポートしてくれているクラブチームは、県内にはないですよ。もう一度吉田のユニフォームを着てバスケットボールしませんか。吉田高校OBとしてひとつになりましょう。

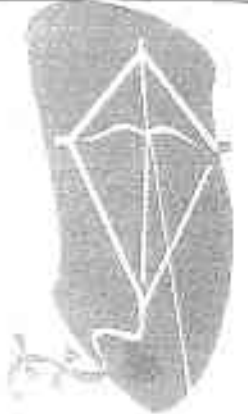
連絡先 090-1731-3142 清水
※今年度よりOBチームスタッフが一新。乞うご期待です。

納入方法

- 1 同封の郵便振替用紙により収めていただく
- 2 銀行口座に振り込んでいただく 82 銀行長野市役所支店
普通預金 103-461 長野吉田バスケットボールクラブ
- 3 現金で事務局、役員に渡す。

本年度会費納入者 (16/12/15現在)

塚田 壮一	小林 善歩	戸谷 肇	小林 和夫	橋詰 武人	和田 哲男
荒井 政治	中沢 豊和	中山 啓	白谷 秀明	清水 信行	吉川 仁
北山 一幸	瓜田 信一	大屋 康秀	伊藤 幸広	早川 尚希	渡辺 悠太
白谷 英之	大屋 秀作	大内 一志	山崎 康志	柳見 沢宏	鈴木 昌
三浦 剛介	柳沢 研				



平成十五年 総会開催される！

本年八月十五日に恒例となりました総会が開催されました。昨年度よりお盆の前の日曜日と計画してまいりましたがバスケットボールの大会と重なり変更をさせて頂きました。大勢の皆様のご参加を賜り誠にありがとうございました。

【ご案内のとおり】一時三十分より現役との交流ゲーム、その後吉田高校の教室にて会計報告、事業報告の承認、また平成十六年度の事業、会計案が承認されました。残念ながら収入の決算では昨年度の百四十二万円に対して八十万円と大幅なショートとなりました。(前年の決算の主なものとしては現役のウィンターカップ出場に向けての寄付金約四十万円がプラスとなっております。)(今年度は盛り返すべく皆様のご協力をよろしくお願いたします。

さてその後はお楽しみみの懇親会。場所を長野駅前メトロポリタン長野にて約三十名のご参加を頂き楽しいひと時となりました。OBの皆様、楽しいスピーチ、昔話に花が咲きあつという間の二次会、さらに二次会へと吉田パワーの炸裂でした。年々、久し振りのメンバーも集まり懐かしい一時でもあります。会員の皆様の振るってのご参加をお待ちいたします。

県新人6年ぶい優勝

北信新人8期連続優勝

顧問 廣田信一

今年もおしえてまいりましたが、〇日の皆様におかれましては益々ご盛況のこととお喜び申し上げます。常々ご支援をいただき感謝いたしております。棋友チームの近況報告をいたします。

6月のインターハイ予選は8月総会の折にも報告しましたが、準決勝戦松商学園に1点差で敗れ3位に終わる。8月中旬福井での北信総大会は福井県1位北信連1位の北陸高校との1回戦で敗退。北信総大会終了後新人にバトンタッチされました。

新人に切りかわり8月福井県では3年連続優勝で好スタートが切れました。

また、10月はじめ3年生が受験体制に入中、国体選手に選ばれた3名と新人でウインターカップ予選に挑むことになり、北信予選1位、県予選では準決勝戦3年生を破り万全の体制の東海第三との対戦となり4点差で惜敗3位でした。

さて、県新人大会では平成10年度優勝から8年ぶりに優勝することが出来ました。

平成11年度4位、12年度から15年度は全て3位、この間13年新人3位からの熊本インターハイ出場、14年新人総体ともに3位からの全国選抜出場がありました。

来年は、是非とも全国大会に出場したいと思っております。今まで同様力強いご支援をお願いいたします。

堀内杯 優勝 (8月8-9日)

長野吉田 116-77 須 坂 長野吉田 91-73 山梨日川

長野吉田 106-79 伊勢工業 (準決) 長野吉田 111-68 前橋南栄 (決勝)

全国選抜予選 北信優勝 県3位 (10月2-3日)

北信

長野吉田 165-51 長野南 長野吉田 146-76 屋代南

長野吉田 124-51 長野東 長野吉田 111-74 長野工業

県

長野吉田 72-42 諏訪清陵 長野吉田 122-44 塩尻志学館

長野吉田 78-82 東海第三 (準決)

新人大会 北信優勝 県優勝 (12月3-4-5日)

北信

長野吉田 124-42 長野工専 長野吉田 134-56 須 坂

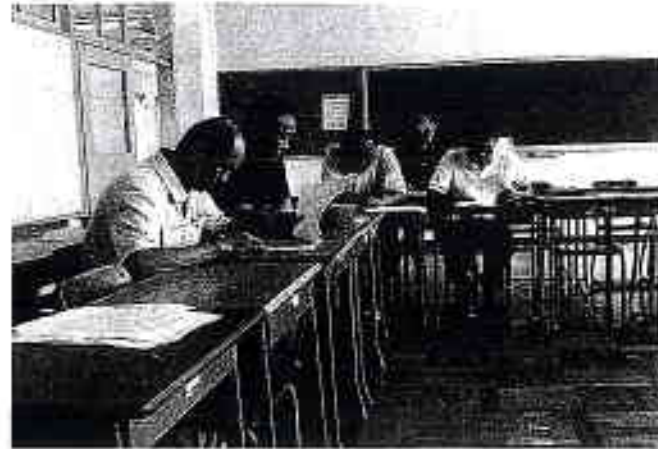
長野吉田 95-63 長野東 (準決) 長野吉田 116-63 長野日大 (決勝)

県

長野吉田 169-41 岡谷南 長野吉田 101-68 塩尻志学館

長野吉田 92-56 諏訪清陵 長野吉田 84-52 松商学園 (準決)

長野吉田 80-64 東海第三 (決勝)



平成15年度事業報告

年 次	月 日	場 所	種 別
平成13年	8月	第一大会 長野県	平成13年12月 長野県新人大会(準決)
		第二大会 長野県	12月 長野県インターカップ(準決)
11月	長野県新人大会	平成14年 7月 長野県インターカップ(準決)	
		1月 長野県新人大会	
平成14年	1月	長野県インターカップ	3月 長野県新人大会
		4月 長野県大会	
		5月 長野県大会	
		6月 長野県大会	
		7月 長野県大会	
		8月 長野県大会	
		9月 長野県大会	
		10月 長野県大会	
		11月 長野県大会	
		12月 長野県大会	
平成15年	11月	13日 長野県新人大会(準決)	
	13日	長野県新人大会(準決)	
平成15年	12月	14日 長野県新人大会(準決)	
		15日 長野県新人大会(準決)	
		16日 長野県新人大会(準決)	
		17日 長野県新人大会(準決)	
		18日 長野県新人大会(準決)	
		19日 長野県新人大会(準決)	
		20日 長野県新人大会(準決)	
		21日 長野県新人大会(準決)	
		22日 長野県新人大会(準決)	
		23日 長野県新人大会(準決)	
		24日 長野県新人大会(準決)	
		25日 長野県新人大会(準決)	
		26日 長野県新人大会(準決)	
		27日 長野県新人大会(準決)	
		28日 長野県新人大会(準決)	
		29日 長野県新人大会(準決)	
		30日 長野県新人大会(準決)	

平成15年度吉田クラブ決算書

科目	前年度(千円)	本年度(千円)	増減(千円)
1. 安全費	718,000	472,000	246,000(△)
2. 雑費	0	0	0
3. 印刷費	58	111	53
4. 雑収入	4,000	0	4,000(△)
5. 印刷費控	2,000	18	1,982(△)
6. 雑費控	300,000	300,000	0
7. 雑費	31,000	23,000	8,000(△)
8. 雑費	24,000	21,000	3,000(△)
9. 雑費	0	0	0
合 計	1,085,000	800,019	284,981(△)

科目	前年度(千円)	本年度(千円)	増減(千円)
1. 印刷費	132,000	132,000	0
2. 印刷費	14,000	14,000	0
3. 印刷費	14,000	14,000	0
4. 印刷費	14,000	14,000	0
5. 印刷費	14,000	14,000	0
6. 印刷費	14,000	14,000	0
7. 印刷費	14,000	14,000	0
8. 印刷費	14,000	14,000	0
9. 印刷費	14,000	14,000	0
合 計	1,085,000	800,019	284,981(△)



第34回全国高等学校選抜優勝大会 県大会準優勝

顧問 廣田信一

師走の候 OBの皆様おかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。常々ご支援をいただき感謝いたしております。

現役チームの近況報告をいたします。6月のインターハイ予選は8月総会の折にも報告しましたが、優勝の松商学園に準決勝で敗れ3位に終わりました。6月中旬新潟での北信越大会は石川1位との対戦で敗退、北信越大会終了後新人にバトンタッチされました。新人強化8月堀内杯では2年連続優勝を果たしました。

さて、3年生が受験体制に入る中、国体選手に選ばれた2名と新人でウィンターカップ予選連覇に挑むことになり、北信予選1位、県予選でも準々決勝までは全て100点ゲームで勝ち進みました。残るは3年生を残し万全の体制で挑む東海第三・松商学園との対戦、準決勝対東海第三では第4Qで逆転勝利。2年連続決勝進出同カード、対松商学園戦では第4Qに入り東海第三との激戦の影響でスタメン5人がケイレンしてしまい逆転され連覇を逃しました。

堀内杯 優勝

長野吉田 126-69 須坂
長野吉田 88-68 奈良一条
長野吉田 124-71 愛知高校
長野吉田 101-85 三重津工業

全国選抜予選 準優勝

長野吉田 161-65 屋代南
長野吉田 101-68 長野日大
長野吉田 142-68 下諏訪向陽
長野吉田 64-60 東海第三
長野吉田 114-58 屋代
長野吉田 119-80 篠ノ井
長野吉田 111-76 塩尻志学館
長野吉田 57-62 松商学園

北信新人優勝

6期連続優勝で優勝カップ授与される!

北信新人大会で春秋を合わせて6回連続優勝するとそのチームに優勝カップを授与して、新しいカップに換えることになっております。この11月はじめに行われた北信新人大会が6回目にあたり少し緊張して臨みましたが心配することなく達成出来ました。11月はじめの茅野市で行われる県大会では優勝を目標に挑みたいと考えております。そして来春はインターハイ出場と目標を掲げ強化に励むつもりでおります。いままで同様今後とも力強いご支援をお願い申し上げます。

北信新人大会 優勝

長野吉田 184-61 須坂園芸
長野吉田 109-62 長野
長野吉田 118-84 中野西
長野吉田 104-86 長野工業